



安城文化

発行: 安城文化協会 ☎446-0041 安城市桜町17番11号(へきしんギャラクシープラザ内) ☎・FAX 0566(74)6066
✉info@anjo-bunka.org 🌐https://anjo-bunka.org

盛大に行われました!

文協春まつり

へきしんギャラクシープラザ(安城市文化センター)

- ・文化協会選抜展 2月9日(金)～11日(日)
- ・ごあ展 2月9日(金)～11日(日)
- ・文化講演会 2月10日(土)

今年も「文協春まつり」が、2月9日(金)から11日(日)までの3日間、盛大に行われました。3年間、コロナ禍による閉塞感が漂っていた中で慎重に「文協選抜展」、「ごあ展」、「文化講演会」を開催してきましたが、今年からは元の形に戻り、ごあ展会場での「喫茶コーナー」も実施することができました。

また、入場者は述べ469人と昨年を上回りました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

文化協会選抜展

文化協会所属の作家の中から選抜展運営委員会より推薦された方々の作品42点を集め、大会議室で3日間開催されました。また、会場には市長、市議会議員、教育長ら6名の方々からの特別出品で華を添えていただき、和やかな雰囲気の中好評のうちに幕を閉じることができました。



ごあ展

文化協会幹事12人と事務局による作品展が選抜展隣の展示室で3日間開催されました。この展示会は選抜展とは違い、幹事会の家族的な雰囲気を醸し出したソフトなものにできました。なお、来場者へのおもてなしとして喫茶コーナーのサービスを4年ぶりに復活し、楽しんでいただくことができました。



文化講演会

今年は、日本が世界に誇る浮世絵をテーマに徳川美術館の副館長で安城市文化財保護委員会の委員長を務めておられる神谷浩氏を講師にお招きし、「目からウロコの浮世絵ばなし」と題しご講演いただきました。

浮世絵の楽しみ方として、思いがけない切り口でお話いただき北斎、広重、歌麿等の人物像につ

いても新たな視点が発見できました。

江戸時代の浮世絵作家の活躍は、その後国内にとどまらずヨーロッパへ伝播し、ゴッホ等の著名な画家にも大きく影響を与えたことも誇らしく思えました。

アメリカのグラフ雑誌「ライフ」で11世紀から20世紀までの1000年間で最も重要な世界の100人に選ばれた唯一の日本人が「北斎」であったとのことは、驚きと同時に改めて偉大な作家が日本にもいたことと、浮世絵そのものが世界の先端を走っていたことが後世に知られることになった訳です。

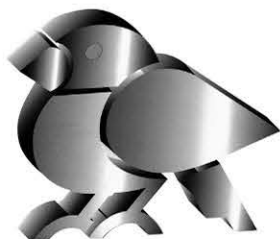
人間は物理的な国境を設け、民族を中心とした国家を運営していますが、そのことが戦争や紛争に繋がっている悲劇を私たちは目の当たりにしています。

こうした浮世絵にみるように文化・芸術が交流を通じた世界平和の架け橋でありたいものです。



Q'文協祭

2024年5月14日(火)～26日(日)



安城文化協会が総力を挙げて主催する、年間最大のイベントです。文協所属のグループ会員・個人会員が、これまで1年間の活動成果を発表します。

皆さんお誘い合わせのうえ多数ご来場いただき、安城における芸術文化の神髄に心を寄せてください。

- 芸能まつりでは、5月19日(日)の1日で24団体が全力で演技を披露します。(市民会館)
- 美術展では、22団体と306人の個人会員が前期と後期に分かれて展示します。(市民ギャラリー)
- 文芸・技芸・趣味展では、13団体がそれぞれの日時及び会場で開催します。(文化センター・市民会館)

第56回 美術展

安城市民ギャラリー

5月14日(火)～26日(日)

◆展示時間：9時～17時（火曜日は13時から、日曜日は16時まで）

前期／14日(火)～19日(日)		
ジャンル	グループ	場 所
洋 画	形象派安城グループ	A室 B室 (1F)
	中部絵画サークル	
	光彩会	
書	夕照会	
写 真	全日本写真連盟安城支部	
水 墨 画	墨泉会	D室 E室 (3F)
	桜華水墨画院	
洋 画	磊雅会	
書	三鈴会	
	美笑会	
	空の会	
個 人 会 員		

後期／21日(火)～26日(日)		
ジャンル	グループ	場 所
洋 画	雅友会	A室 B室 (1F)
	絵画造形教室 たけのこ	
書	祥霞会	
	吉祥会	D室 E室 (3F)
	墨心会	
日 本 画	游の会	
	丹青日本画会	
洋 画	八彩会	
書	芳墨會	
工 芸	閑陶会	
	ぐるーぶ染趣	

第45回 文芸・技芸・趣味展

へきしんギャラクシープラザ(安城市文化センター)
安城市民会館

5月17日(金)～19日(日)

グループ	日 時	場 所	グループ	日 時	場 所
へきしんギャラクシープラザ(安城市文化センター)			へきしんギャラクシープラザ(安城市文化センター)		
アートフラワー会※	17日(金)11時～ 19日(日)16時	講座室(1F)	安城茶友会(茶道)	19日(日)9時30分～15時30分	和室1・2(1F)
ちぎり絵優美会		展示室1(1F)	安城初蝶俳句会※	17日(金)9時～12時	202会議室(2F)
安城植物友の会		302会議室(3F)	北辰俳句会※	17日(金)13時～15時30分	102会議室(1F)
青の会(俳句)※		展示室2(3F)	沃野短歌会※	18日(土)13時～16時	
銀のすず俳句会			安城市民会館		
安城華道連盟	18日(土)9時～19日(日)15時30分	大会議室(3F)	安城石睦会(愛石)	17日(金)11時～ 19日(日)16時	展示室(1F)
賣茶流安城教授者会(煎茶道)	18日(土)9時30分～15時	和室1・2(1F)	安城皐月同好会※		大会議室(3F)

※体験コーナーがあります。(青の会は5/18(土)のみ)

第46回 芸能まつり

安城市民会館(サルビアホール)

5月19日(日) 9時30分開場／10時開演

No	時間	ジャンル	グループ	No	時間	ジャンル	グループ
1	10:00	謡 曲	安城謡曲同好会	13	14:00	詩 吟	安城岳風会
2	10:20	箏 曲	和 箏 会	14	14:20	フラダンス	アロハナニ安城マウイ
3	10:40	コ ー ラ ス	コーロ・アンジェリコ	15	14:40	フラダンス	アロハナニ安城ハワイ
4	11:00	フラダンス	アロハナニ安城カウアイ	16	15:00	詩 吟	碧海吟友会
5	11:20	フラダンス	アロハナニ安城オアフ	17	15:20	箏 曲	鈴 木 会
6	11:40	箏 曲	七 橋 会	18	15:40	フラメンコ	エル・アモール
7	12:00	民 踊	豊 麗 会	19	16:00	フラメンコ	エル・フローラ
8	12:20	箏曲・尺八	こやま会・安城三曲会	20	16:20	三 河 万 歳	安城の三河万歳保存会
9	12:40	大 正 琴	碧 美 会	21	16:40	民 謡	竹 友 会
10	13:00	詩 吟	西三河岳風会安城支部	22	17:00	舞 踊	翠 艶 会
11	13:20	舞 踊	新舞踊 瑞甫会	23	17:20	民 謡	乙 坂 会
12	13:40	箏 曲	清 水 会				

◎安城文化協会では、各団体・個人の会員を募集しています。お気軽にご相談ください。

「砺波市文化祭 第20回記念砺波市美術協会会員展・安城文化協会交流展」開会式に参加して

会期：2024. 3. 9（土）～3. 31（日）10:00～18:00

会場：砺波市美術館（1階企画展示室・2階市民ギャラリー）幹事：永井 浩

3月8日（金）旅行社のマイクロバスで日本画・洋画・書・工芸の出品作15点と参加者9名がギャラクシープラザを9時に出発、車中で参加費徴収（笑）。和やかな雰囲気、14時過ぎに砺波市美術館に到着。作品搬入後、砺波市美術協会会員作品総数93点を観た。1階の絵画は具象が多く、彫刻は全身像が主で、書は前衛（絵画的）作品が多い印象。2階は写真と工芸

が主で伝統の技が光る。

3月9日（土）の開会式は砺波市美術館1階エントランスホールに椅子80席。午前10時に開式。来賓祝辞での神谷恒行副会長の「昨日観た砺波の方々の作品に地域の美術を育てるという気概を感じました。」に共感した。テープカット後、今回参加の出品者が展示室で安城文化協会作品の解説を行う。その後、会場を移し「創立20年記

念式典・祝賀会」に出席。祝辞に続き「20年記念誌」の紹介、富山の民謡披露、乾杯へと進み安城と砺波の皆さんとの懇親を深めた。



会と催し

一文協後援のものー

○近藤義行展

・4月2日(火)～7日(日) 市民ギャラリー

○第22回日本画遊の会展

・4月18日(木)～21日(日) 市民ギャラリー

○第6回碧海会大正琴発表会

・4月21日(日) 碧南市芸術文化ホール

○小さなコンサート～あれからそしてこれからへ～

・6月1日(土) 昭林公民館

○第30回記念三河・名古屋形象派展&カルトン画展

・6月11日(火)～16日(日) 市民ギャラリー

○第41回ちぎり絵優美会展

・6月21日(金)～23日(日)

へきんしんギャラクシープラザ

○新安城辰巳会五人展

・7月5日(金)～7日(日) 市民ギャラリー

○第71回夏季デッサン大学

・7月25日(木)～28日(日)

へきんしんギャラクシープラザ

○第24回桜華水墨画院展

・8月9日(金)～11日(日) 市民ギャラリー

おめでとうございます

◆第48回愛知県文連美術展

○部門大賞

・日本画	永井 浩
・彫刻	志字 弘一
○入選	
・洋画	藤岡 延也
・洋画	浅井 道子
・書	石川 栄子
・書	石川美知子
・書	稲越 雅子
・書	加藤フジ子
・書	黒柳 知里
・書	水野マリ子
・書	村越 容子
・書	矢田部 亨



部門大賞 日本画
永井浩 「私の心は雨の中」



部門大賞 彫刻
志字弘一 「木霊石」

（お詫びと訂正）1月号2ページ記載の役員の年始のご挨拶でお名前に誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。（誤）石田靖治 →（正）石田靖浩

新ホームページ（HP）の開設 <https://anjo-bunka.org> 安城文化協会では本年4月から新HPを開設しました。登録団体及び会員の紹介をはじめ、年間主要行事のお知らせや結果報告など最近の情報を発信する予定です。ご活用ください。なお協会メールアドレスも新しくなりましたので、変更をお願いします。info@anjo-bunka.org



リレー随筆

昨年遠出をしました。飛行機に乗って青森県弘前市へ（飛行機怖かった）。一泊の青森旅行。「青森まで行って、一泊だけなの」って言われたけれど、楽しい充実した旅でした。

趣味の仲間と、「こぎん刺し」のルーツを探る旅（ちよつと大袈裟）。青森県津軽地方に伝わる「こぎん刺し」。藩政時代、津軽では綿花が育たず、禁令によって綿を着ることを規制された農民たちは、麻を着用しました。農村の女性たちは麻を育て、糸を績み、織って刺し綴るようになりました。寒さ厳しい風土のなかで、布の保湿性を高め、補強するための生活の知恵でした。それがいつしか、美しい幾何学模様を生み出し、今に伝わる「こぎん刺し」として発展しました。江戸から明治時代にかけて作られたものは「古作こぎん」と呼ばれました。地域によって西こぎん、東こぎん、三縞こぎんの三つに大別されます。古作こぎんを羽織らせてもらって昔の人の手仕事ってすごいなと思いました。

A